

北条高等学校

PTAだより

令和4年12月20日
愛媛県立北条高等学校
印刷 (株)松栄印刷所



御挨拶

PTA副会長

永井良子

師走を迎え何かと忙しい日々を過ごしていること存じます。

本年度PTA副会長を務めさせていただきます。PTA活動については経験がなく、不安な気持ちを持ちながらのスタートとなりました。学校とPTAの仕組みを垣間見ることができると捉え、楽しみな気持ちで、PTAの皆様、先生方の協力の元、活動をさせて頂いています。

今年も子どもたちは過去数年同様新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらの学校生活を送っています。このような状況下では、子どもたちは学校生活を謳歌しているとは言えないように思います。しかし、コロナ禍での生活が続いているなか、必要な感染対策を先生方と意見を交換し合い、安心安全な元に制限がある中で、少しずつ日常に戻せるようになってきているのではと感じ

じるようになりました。先日行われた、体育大会では観覧制限がある中、本部席で観覧いたしました。どの子どもたちも笑顔で、時には真剣な表情で、応援し合い、競技、演技に取り組んでいました。数年ぶりに観ることができた子どもたちの成長を感じながら、この笑顔を絶やさないようにしなくては、と思いました。

文化祭でも今のご時世に合わせた催し物ばかりで、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

残りの任期期間も子どもたちにとって有意義な学校生活を送ることが出来るよう校訓である「自立・創造・敬愛」の心を持つような子どもたちに成長するよう、保護者の皆様、先生方と協力し合い、一緒に模索できれば幸いです。

引き続き、御理解、御協力をお願いいたします。



北条高校野球部 春季大会準優勝の強豪校を破り 初のベスト8進出!



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計	H
北条	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4
松山聖陵	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	5

6 西 5 福 2 井 1 楓 3 中 4 村 7 西 4 古 0 西 0 原
 川 田 手 野 本 上 田 川 幸

松山聖陵

PTA理事会

七月十五日(金)会議室にて第二回PTA理事会が行われました。

校長から学校振興計画についての説明、各課・年次より本校の現状について説明、第六十四回中国・四国高等学校PTA連合会大会愛媛大会について説明が行われました。その後、人権教育部、保健厚生部、広報部に分かれて話し合いが行われました。各専門部ごとに活発な意見交換をすることができました。



PTA研修会

十一月十三日(日)PTA研修会が行われました。

感染拡大防止の観点から、有志による参加で本校教諭による陶芸講座が行われました。最初は思うような形にならず苦労しましたが、工芸部の生徒にも手伝ってもらい、思い思いの作品を作ることができました。どんな色に仕上がるのか、焼きあがるのがとても楽しみです。



第六十四回 中国・四国高等学校 PTA連合会大会愛媛大会

演題 「今治からの挑戦」

講師 株式会社社会治 夢スポーツ

代表取締役会長

日本サッカー協会副会長

岡田 武史 氏

令和四年七月二十六日(火)愛媛県民文化会館で行われました。北条高校からも役員さんにお手伝い頂きました。ありがとうございました。

岡田武史さんの講演では、今治FCや今治市の活性化のために行ってきたことやこれからの夢を話してくださいました。現在、前例のない時代である。何が正しいのか、自分で情報を選択し自分で考えて主体的に自立していける人間が必要。みんな一人一人違う、多様が前提である、教育は社会に出ていく準備である。感性、直観、経験値が大切である。失敗のない人生も素晴らしいが、幸せはそれだけではない。困難を乗り越え成長したり、悔しさをもって一度チャレンジしたり、誰かと助け合っ
て絆ができた、そういう幸せも大切だと、とても勉強になり、心に響く講演でした。

野 球 部

学校創立以来初のベスト8

梶野 崇太

二年次の夏、ベスト8直前で敗退した屈辱をばねに、自分たちの代では「絶対ベスト8突破」を目標に日々練習をしてきました。夏の大会では、自分の実力以上の力を発揮することができ、今までの苦しい練習の成果が出て最高に嬉しく、何ともいえない感情がこみ上げてきました。学校創立以来のベスト8、自分たちのプレーでみなさんに感動と勇気を少しでも感じてもらえることができてよかったです。次のステージでも、多くの人に感動を与えられるように頑張りたいと思います。

井手 夢庵

新チームでの新人戦は0-15の大敗でした。そこからもつと守備に力を入れ、最後の夏の大会ではどのチームよりもノックを受けてきたと自信を持って戦いました。強豪校との試合でも序盤の得点を守り切る事ができました。ベスト4をかけた試合は何もできずに終わってしまいました。大学でも更に上位を目指せるように努力していきたいと思えます。

福田 士紋

一年次の夏、甲子園への夢が無くなった。三年次に兄がいた。その時、兄の分まで甲子園に行こう！と決意した。しかし、二年次の夏、甲子園はそんなに甘くないことを知った。三年次の夏、自分たちの代がき

た。目標は甲子園、目的は人間形成を胸に挑んだが甲子園は遠かった。ただ、創部以来初のベスト8まで勝ち進むことができたのが本当に嬉しかった。

西原 幸也

「目標は甲子園、目的は人間形成」を胸に日々の練習に取り組んできました。自分たちはどここの学校よりも苦しい練習をしてきたと思っただけに挑みました。三回戦は、自分たちよりも力が上のチームでしたが、自分たちの練習を信じて戦いました。その結果、ベスト8という成績に繋がったと思います。三年次最後の夏、悔いの残らない試合ができ、本当に三年間頑張ってきたよかったです。



吹 奏 楽 部

ボランティア活動を通して

横山 星

私達吹奏楽部は、コンクールだけでなく、地域のイベントや高齢者施設で演奏をしています。たくさんの方に笑顔・元気を届けることを目標に活動しています。私達の演奏を聴いて楽しく踊っている方や声をかけてくださる方がいて、その度にとってもうれしくなるし、今後もこのように活動を続けてもつとたくさんの方に元気を届けたいと思います。

中矢 愛梨

十一月、三年ぶりに郊外イベントが開催されました。私達は精一杯の演奏と笑顔を届けることができました。行く先々で、観客からの温かい拍手と称賛の言葉を頂き、演奏する喜びと達成感を得ました。残されたイベントもわずかですが、これまで携わってくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、悔いなく楽しく活動できたと思います。



生徒会

キャップアート

三年次 井上ゆりか

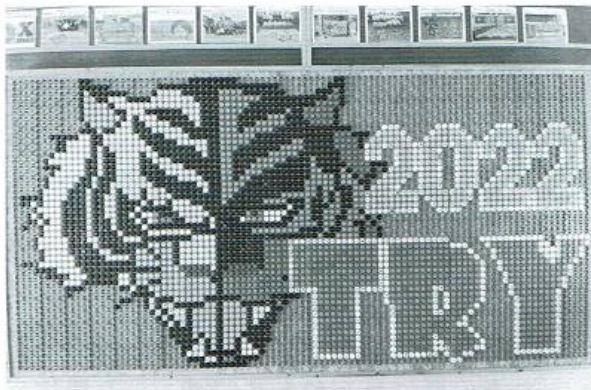
普段は、ごみとして使われることの多いペットボトルキャップですが、そのキャップを使ってアートを作ったり、集めたキャップが誰かの支援となるのはすごく素敵だなと思いました。キャップアートは数が多く、大変な作業ですが、みんなと協力して一つのものを作成する楽しさとやりがいを感じることができました。

三年次 橋 華瑠希

キャップアートは、ペットボトルのキャップを回収業者の方に引き取ってもらう前に有効活動をしようにということで始まった取り組みです。この活動を通して、全校生徒が積極的にリサイクル活動に参加してくれるようになりました。

三年次 寺尾 留奈

私が生徒会に入って初めて行ったキャップアート制作。始めた最初は何をどうやって行えばいいのかわかりませんでした。キャップの向きを揃えることが一番気を付けたことだと思います。



体育大会



パネルリーダー 渡部眞美子

颯のパネルは、風と光の中で舞う竜を描きました。構図が複雑だったので、皆さん真剣かつ丁寧に作業に向き合ってくれたおかげで、迫力のある勇ましいパネルができました。



パネルリーダー 山下 沙織

大きな絵を作るということが初めての経験で、準備もとても大変でしたが、設置後に完成したパネルを見て、頑張ってきたよかったなと思いました。

パネルリーダー 長野 萌李

様々な苦労がありました。が、皆で一つのパネルを完成させることができました。制作を始めてから完成までの期間、大変でしたが、今となっては良い思い出です。

パネルリーダー 石田 紗愛

パネル制作では、イラストの変更など様々なハプニングがありました。最後まで諦めずに努力したことで素敵なパネルを作り上げることができました。



パネルリーダー 野中 愛

パネル制作は経験の無いことばかりで苦労の連続でした。前日も大雨でシートの間から雨水が入るというハプニングがありました。が、みんなと協力し合い、優勝もでき、最高の思い出になりました。グループの皆や先生方には感謝しきれません。

パネルリーダー 河野 颯希

パネル制作は、クラスの皆が協力して作り上手にできました。その結果、パネル優勝をもらえました。三年次最後の体育大会は、苦労もあつたけれど良い思い出になりました。

